

令和4年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

資料4-2-2

団体名(所管課名) 特定非営利活動法人 子育て応援隊むぎぐみ

事業名

Shining Hearts' Party 20

事業の目的

コロナ禍において、障害のあるなしに関わらず、子どもたちの健全な育成に寄与することを目的として、特定非営利活動法人子育て応援隊むぎぐみとさいたま市が協働して実施する。

事業の目標

1. 障害のある子ども、障害のない子ども及びその家族が地域社会から孤立することを防ぐイベントを開催すること。
2. 障害のある子どもと障害のない子どもがお互いの理解を深めるきっかけとなる機会を設けること。
3. イベントを通して、市民に分かりやすい、子育てや協働に関する情報発信を行うこと。

該当する所に○をつけてください

項目	評価の視点	評価			評価理由など
		充分できた	概ねできた	充分ではなかった	
1 事業の目的と目標の設定	協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。		○		2年目の事業のため、目的・目標はしっかりと共有できていた。広報面はより計画的にすすめることができた。
2 事業の成果	事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 (成果:協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値)	○			来場者人数が658名と大幅に増えた。昨年オンラインでコンサートを知った方々が今年は会場にきていただくことができた。
	市民が市民活動に触れる、参加の機会をつくるなど、地域の市民活動の活性化につながりましたか。		○		来場者が増えたことで会場のホワイエブースが活気に満ちていた。オンラインがきっかけとなり、新しい交流の場を提供できた。
3 協働事業の効果	協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 (良い効果:互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得)	○			協働開催することで、子育ての関連施設や保育園、障害児サービス事業所などより多くの子育て家庭に事業を周知することができた。
4 市民活動団体と担当所管課との連携	協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。	○			市民協働推進課が窓口となり各課とのパイプ役を担っていただけたことで3課の協働ではあったが、スムーズに連携を取ることができた。
5 事業の適切な取組	事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけをつくることができましたか。	○			2年連続で来場とオンラインのハイブリット開催を行ったことで、予想されるアクシデント等に備えることができた。舞台、配信、司会との連携でしっかりフォロー体制を作り対応できました。
★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由にお書きください。 (例) ・協働して感じたこと ・マッチングファンドの良い点、改善点など	マッチングファンドは、資金や広報、また信頼感などで苦慮している様々な市民活動を支援していただける有意義な取り組みであると思う。新規事業の場合、計画通りに進まないことがあり、申請と報告では内容が合致しない場合、理由や経過を確認しながら、柔軟に対応していただければより利用される団体が増えると思う。今後、多くの団体が活用されることを期待します。				

令和4年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

団体名(所管課名) 障害政策課

事業名 Shining Hearts' Party 20

事業の目的 推進助成事業は、コロナ禍において、障害のあるなしに関わらず、子どもたちの健全な育成に寄与すること。

- 事業の目標
- (1)障害のある子ども、障害のない子ども及びその家族が地域社会から孤立するを防ぐイベントを開催すること。
 - (2)障害のある子どもと障害のない子どもがお互いの理解を深めるきっかけとなる機会を設けること。
 - (3)イベントを通して、市民に分かりやすい、子育てや協働に関する情報発信を行うこと。

該当する所に○をつけてください

項目	評価の視点	評価			評価理由など
		充分 できた	概ね できた	充分では なかった	
1 事業の目的と目標の設定	協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。	○			
2 事業の成果	事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 <small>(成果: 協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値)</small>	○			
	市民が市民活動に触れる、参加の機会をつくるなど、地域の市民活動の活性化につながりましたか。	○			
3 協働事業の効果	協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 <small>(良い効果: 互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得)</small>	○			
4 市民活動団体と担当所管課との連携	協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。	○			
5 事業の適切な取組	事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけをつくることができましたか。	○			
<p>★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由にお書きください。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働して感じたこと ・マッチングファンドの良い点、改善点など 					

令和4年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

団体名(所管課名) 子育て支援政策課

事業名

Shining Hearts' Party20

事業の目的 コロナ禍において、障害のあるなしに関わらず、子どもたちの健全な育成に寄与すること

- 事業の目標
- (1) 障害のある子ども、障害のない子ども及びその家族が地域社会から孤立することを防ぐイベントを開催すること。
 - (2) 障害のある子どもと障害のない子どもがお互いの理解を深めるきっかけとなる機会を設けること。
 - (3) イベントを通して、市民に分かりやすい、子育てや協働に関する情報発信を行うこと。

該当する所に○をつけてください

項目	評価の視点	評価			評価理由など
		充分 できた	概ね できた	充分では なかった	
1 事業の目的と目標の設定	協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。		○		
2 事業の成果	事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 <small>(成果: 協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値)</small>		○		
	市民が市民活動に触れる、参加の機会をつくるなど、地域の市民活動の活性化につながりましたか。		○		
3 協働事業の効果	協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 <small>(良い効果: 互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得)</small>		○		
4 市民活動団体と担当所管課との連携	協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。		○		
5 事業の適切な取組	事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけをつくることができましたか。		○		
<p>★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由にお書きください。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働して感じたこと ・マッチングファンドの良い点、改善点など 					

令和4年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

団体名(所管課名) 市民協働推進課

事業名 Shining Hearts' Party20

事業の目的 コロナ禍において、障害のあるなしに関わらず、子どもたちの健全な育成に寄与すること

- 事業の目標
- (1) 障害のある子ども、障害のない子ども及びその家族が地域社会から孤立することを防ぐイベントを開催すること。
 - (2) 障害のある子どもと障害のない子どもがお互いの理解を深めるきっかけとなる機会を設けること。
 - (3) イベントを通して、市民に分かりやすい、子育てや協働に関する情報発信を行うこと。

該当する所に○をつけてください

項目	評価の視点	評価			評価理由など
		充分できた	概ねできた	充分ではなかった	
1 事業の目的と目標の設定	協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。	○			当課がコーディネート役となり、団体と当課含む3つの所管課で、それぞれの組織のメリットとなるような目的・目標を共有し、設定することができました。
2 事業の成果	事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 <small>(成果: 協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値)</small>	○			YoutubeLive配信によるオンラインコンサート開催を通じ、より多くの方に向けて、市民活動や協働のPRをすることができました。
	市民が市民活動に触れる、参加の機会をつくるなど、地域の市民活動の活性化につながりましたか。	○			新型コロナウイルス感染症拡大の影響等、会場に足を運べない方にも、YoutubeLive配信により、市民活動に触れる機会を創出することができました。
3 協働事業の効果	協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 <small>(良い効果: 互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得)</small>		○		協働することで、団体の持つ専門的な能力や人材を活かすことができました。
4 市民活動団体と担当所管課との連携	協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。	○			団体・所管課のコーディネート役として、それぞれ情報交換しながら、事業をスムーズに実施することができました。
5 事業の適切な取組	事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけをつくることができましたか。		○		オンラインコンサート中に、マッチングファンド制度について紹介する時間を設けていただくことで、参加者へ向けて、当課との繋がりのきっかけとすることができました。
★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由にお書きください。 (例) ・協働して感じたこと ・マッチングファンドの良い点、改善点など	・協働相手が複数だったため、当課がコーディネート役として入ることで円滑な事業の実施ができました。 ・コンサートのオンライン配信は、対面開催よりも多くの方に情報発信をすることができ、さいたま市の市民活動・協働をPRする良い機会となりました。 ・2年度目の事業ということで、昨年度に事業を実施した経験を活かし、スムーズに進めることができましたと思います。				

様式第7号(第11条関係)

令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金実績報告書

令和5年2月8日

(あて先)

さいたま市長

所在地 埼玉県さいたま市南区南本町1-5-9

団体名 特定非営利活動法人

子育て応援隊むぎぐみ

代表者氏名 高濱 正伸

令和4年5月26日付け 市市協第4-19号で交付決定の通知を受けた令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業(一般助成事業・団体希望助成事業)が完了したので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第11条の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1 交付決定額 | <u>金 488,000 円</u> |
| 2 精算額 | <u>金 488,000 円</u> |
| 3 事業実施報告書 | |
| 4 事業収支計算書 | |
| 5 添付書類 | |
| (1) 支出を証する書類 | |
| (2) 事業の成果物、写真、その他事業に関する資料 | |



令和4年度マッチングファンド事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人子育て応援隊むぎぐみ

事業名称	Shining Hearts' Party 20	
実施期間	令和4年6月～令和5年1月	
総事業費	638,626円（内訳は別添事業収支計算書参照）	
内助成金交付申請額	488,000円	
事業の目的	<p>*計画書の「1現状における課題と事業の目的」（この事業は何を目的に設定しましたか？）の記載事項を転記してください</p> <p>コロナ禍の長期化でますます孤立していく子育ての中、障がい児や健常児を含めた子育て世帯をはじめ、入院中の方や自宅療養中の方、免疫力が弱く外出を躊躇する方などには、オンライン配信によって、良質な音楽や私共の活動を知らせていくことで繋がりを持つ効果があると実感できた。子育て中に起こりうる困りごとを相談する場があるなどの情報を得ることで、孤立することなく地域や社会と繋がるきっかけとなり、子どもたちの健全なる育成に寄与する。</p>	
事業の実績	事業の具体的な内容	
	いつ	令和5年1月15日（日）
	どこで	さいたま市文化センター 大ホール
	だれに	障がいのある子も無い子もその家族もみんな
	なにを	良質な音楽とバリアフリーな場所
	どうした	ボランティアスタッフと賛同して下さるアーティストの皆さんと協力し、会場からオンライン配信を行いながら開催した。
	（詳細な内容）別紙のとおり	
成果		
*事業の結果を表す数値を記載ください（例：参加人数等）。		
来場者 658名 車いす 6台 ベビーカー 11台 ライブ配信再生回数 828回		
効果		
*事業を実施することで、地域や市民にどのような良い結果をもたらしたか記載ください。		
昨年オンライン視聴された方が今年は会場に聴きにきてくださった。司会のオンライン視聴者への声掛けが音楽だけでなく入院中の不安や孤独をやわらげてくれたこと、実際に会場に行くことを楽しみにリハビリに向き合ってくれたなど生のお話が伺えた。会場とオンラインのハイブリット開催は、音楽の力を共有し、今までは繋がらなかった方々と繋がる等、長期化するコロナ禍で孤立化していた子育て世帯が社会や地域と繋がるきっかけを作ることができ、子どもたちの健全育成に寄与した。		
事業の評価	*事業実施にあたって、課題となった点、工夫した点、良かった点、苦労した点等、評価を記載ください。	
	今年度も感染対策は強化したまま開催し、受付を簡素化、出演者の待機場所や配置を工夫するなどの感染対策に注力した。来場者の検温、消毒、換気は各セッションで徹底して行うことができた。コロナ禍ではあったが、市の広報誌よりボランティアに参加して下さった市民の方が数名いらした。市と民間が協働でバリアフリーコンサートを開催していることを広めることができた。	
今後の展開	<p>*この事業は、次年度以降どんな事業展開を考えていますか？</p> <p>※翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。</p> <p>2年間、オンライン実施の併用により会場に来られない方々へ良質な音楽を共有することができ、必要として下さる方も多いと感じた。次年度以降も会場とオンライン配信のハイブリット開催ができればと考えている。今年度、骨伝導イヤホンを試聴するブースなど、民間企業の協力をいただいた。規模が大きくなってきたため、来年度は、花まるグループ全体で取り組み、より多くの企業、自治体と関わりを増やして開催をしていく方向である。</p>	

事業の内容

実施時期	労力換算 番号	実施内容
R4.6.12	1	第1回運営 MTG (オンラインあり) 28名 (※労力換算における従事人数 以下同様) ①自己紹介 ②テーマ決め ③Shipkids 手話歌の課題曲決め ④装飾展示 プレゼント決め
R4.6月		出演者依頼/チラシ・手話歌イラスト・パンフレット作成依頼/ブース依頼など/市報依頼
R4.7.17	2	第2回運営 MTG (オンラインあり) 30名 ①担当発表 ②テーマ・課題曲の発表・チラシの原案共有 ③ホワイエプレゼント決定 ④担当別打合せ
R4.8月		出演者連絡 確認事項 舞台配置図送付
R4.9月		手話動画作成依頼
R4.9.25	3	後援申請/NTT 東日本設営依頼 プロバイダ契約確認/チラシの入稿/ボランティア募集 第3回運営 MTG 31名 ①チラシ確認 ②骨伝導コンサートについて ③担当ごとに作業及び報告
R4.10月		趣意書作成/文化センター情報誌・HP 依頼/チラシ納品/チラシ配布先の確認/各担当の動き確認
R4.10.30	4	第4回運営 MTG 34名 ①チラシ仕分け②担当ごとの動きと報告③ShipKids (オンライン) 自己紹介と課題曲・手話の共有 JASRAC 許可申請/舞台打合日確認/ブース確認/チラシ発送持ち込み (さいたま市・埼玉県など)
R4.11.20	5	第5回運営 MTG 32名 ①担当ごとに作業及び報告 ②ShipKids 練習
R4.11.30		NTT 東日本インターネット回線現地調査 (文化センター)
R4.12.11	6	第6回運営 MTG 34名 ①本番に向けて担当ごとに確認連絡 ②ShipKids 練習
R4.12月		舞台打合/ブース出展団体打合/配信業者打合/テロップ作成全面画像作成 講演会事前 MTG (オンライン) 事前質問集計など
R5.1.12		NTT インターネット回線工事/インターネット回線テスト (文化センター)
R5.1月		当日スケジュール確定連絡/当日配置スタッフ連絡/各ブース団体連絡打合/講演会参加者へオンライン配信についての連絡/SNS 広報/チラシ新聞折り込み/配信設定など
R5.1.15	7	Shining Hearts' Party 20 講演会・コンサート開催 33名
R5.1.25		反省会次年度開催に向けての MTG
R5.2月		収支計算書作成/後援事業報告/マッチングファンド助成金事業報告書作成及び提出



Shining Hearts' Party 20

音楽は続くよどこまでも

～20年の感謝をメロディにのせて～

【講演会】

親と子が元気になる

ペアレント・トレーニング

～子どもの成長を願って～

SH20講演会

発達障害のペアレント・トレーニング

- 子どもの行動への正しい対処方法を保護者が学び、子どもの適切な行動を増やし、不適切な行動を減らします。
- 少人数のグループで励ましあいながら、よりよい養育スキルの学習と実践を行います。（個別実施は異なる）
- 支援者による療育だけでなく、家庭の日常生活で子どもの行動を改善し発達を促進します。
- 家族と支援者が協力し、子どもの発達を支援し、子どもが自信をもって生活できるようにすることを目的としています。

05:56

【コンサート】文化センター&YouTubeLive 配信



Shining Hearts' Party 20 開催報告

◎事業名

障がいのある子もない子もその家族もみんなで楽しめるコンサート

Shining Hearts' Party 20

音楽は続くよどこまでも～20年の感謝をメロディにのせて～

◎開催日時及び場所

令和5年1月15日(日)

○オンライン講演会

午前10:00～12:00 Zoom

○コンサート

午後14:00～17:00 さいたま市文化センター 大ホール/YouTubeLive 配信

◎内容・感想

○オンライン講演会

ペアレント・トレーニングについてオンライン（Zoom）を使用したの講演会を開催しました。ペアレント・トレーニングとは、応用行動分析の理論をもとに、親子関係の悪循環を変えていくためのプログラムです。子どもの行動を分析しながら、その子にあったほめ方や伝え方、接し方を学ぶことで、親子の関係性改善を目指します。アンケート結果も好評で今後もペアレント・トレーニングが孤立した子育て一助になるよう活動を継続する必要性がある感じました。

～講演会アンケートからの抜粋～

- ・とっても気持ちが楽になりました。頑張りすぎていましたが、みなさんと同じ悩みに驚きました。支援を受けるまでに9年かかりましたが、少しずつ前に進めそうです。
- ・ペアトレの基礎知識を学べて大変参考になりました。質疑応答では同じ悩みを抱えた方がたくさんいるんだと思う事ができ前向きになれました。ありがとうございました。
- ・大変に勉強になりました。毎回この講演を楽しみにしているものです。今回は質問も取り上げて頂きました。先生方に頂いた助言は宝物です、必ず活かします。
- ・子供との向き合い方、夫婦での協力や話し合い方など参考になりました。また発達障害のお持ちの親の気持ちもわかり共感しました。

- ・中田先生、喜多見先生から具体的なアドバイスや温かい言葉をいただき（たまにはガス抜きして良い等）有り難くて涙が出ました。頑張りすぎずに頑張っていこうと思いました。ありがとうございました。
- ・褒め方、25%ルールのお話、Ccq、自分を許してもいいなど、大変参考になるお話ばかりで感激致しました。自分の悩んでいたことも本日学んだことを通して考え直し対応方法も変えて行きたいです。本当にありがとうございました。今後もこのような機会がありましたら是非参加させていただきたいです。
- ・幼児期の発達支援に従事しているため、少し先の内容として勉強になりました。先生方が保護者の方に対して、地に足がついた温かい言葉選びで伝えられていたことが、心に残りました。ペアトレについて初めて学び、専門的な内容と、実践的な内容をどちらも聞くことができてよかったです。
- ・私自身が悩んでいる内容は、他の方も悩んでいる内容と重なり、1人ではないのだなと感じました。また、多くの経験から専門的な事を教えて頂き、今まで支援関係機関を訪れたり、話を聞いてもいまいちっくり来なかったり、対応方法に疑問を持った事もあったが、むぎぐみに繋がれて本当に良かったと思いました。本日は貴重な講演をありがとうございました。
- ・PT から時間が経って、久しぶりに中田先生のお話を聞くことができ、初心に戻ることができました。登校拒否から始まった小4、PT を経て親子関係がとても良くなり子に育ててもらった親です。小6になった息子は、自由な環境を求めて単身留学始めました。彼の Before を知る誰もが驚きの現在です。思春期を前に程よい距離感を保てるようになったのも PT のおかげと思っています。ありがとうございました。

○コンサート

今年度は「音楽は続くよどこまでも～20年の感謝をメロディにのせて～」というテーマに本拠地であるさいたま市文化センターにて20回目の開催を行いました。今年も感染対策を徹底し、観客お迎えし、同時に遠方など会場までお越しいただけない方のためにYouTubeLive配信を行いました。今年は来場者が多く、650名を超えYouTubeLive配信の再生回数は800回超えとたくさんの方々をつなぎ、楽しいひとときを過ごすことができました。20年間継続することができたのは、出演者の皆さまや運営ボランティアスタッフの皆さま、後援・協賛をいただいた皆さま、多くの方々のご支援のおかげです。本当にありがとうございました。来年度より花まるグループ全体が主催し、バージョンアップしたコンサートを開催する予定です。

～コンサートで演奏していただいた皆様（出演順）～

- ・ご存知さいたま寿座
- ・白井崇陽
- ・花まるバンド
- ・KARINBA
- ・Ship Kids
- ・越谷市音楽団

～ブース・展示～

- ・あみくろおべんと屋さん(NPO 法人くれおん)
- ・NOT≠EQUAL ブース
- ・ART のとびらと KARINBA ブース
- ・アノネ音楽教室ブース
- ・NPO 法人 子育て応援隊むぎぐみ
- ・骨伝導視聴ブース

～コンサートアンケートからの抜粋～

・私には音楽大好きな障がいのある娘がいて、楽しんで音楽を聞かせていただきました。音楽にノリノリになってしまい、声を出してしまったりとなかなかコンサートのような場所には連れて行けないので毎年シャイニングハーツパーティを楽しみにさせていただいていた。私自身もゆっくり音楽にふれる機会がなくとても楽しませていただきました。ありがとうございました(^^)

・昨年の担任の先生からお誘いいただいて初めて伺わせていただきました。会場入口でいただいた音の出るおもちゃのお陰ノリノリで”参加”でき、とても楽しい時間が過ごせました。会場のスタッフの皆様の暖かで優しい対応も嬉しかったです。

・本日は素敵なコンサートありがとうございました。私も昨年チームを立ち上げ、同じ趣旨のコンサートを越谷で開催しました。私も放課後等デイサービスの児発管として働きながら手探りですが、チーム活動は継続しようとしています。是非色々お話しを聞かせて頂きたい所です。頑張ろうと勇気を貰えました。ありがとうございました。

・今日はシップキッズと一緒にじいろの手話が出来てとっても嬉しかったです。

・とても感動的なコンサートでした、これからの活動も応援しています。

・日頃、生の歌や演奏をこどもと一緒に楽しみたいと思っていたのですか、飽きたり騒いだりの可能性を考えて参加出来ませんでした。当イベントに参加させていただいて久しぶりに生の音楽を鑑賞でき、とても嬉しかったです。心地よかったのか子どもがぐっすり寝てしまい、残念ながら途中退出しましたが、次回もぜひ参加させていただきたいです。

・心暖まる音楽の数々、たいへん感動しました。25 歳になる娘は終演後ホワイエにてバイオリンの手ほどき受け、本当に嬉しそうでした。またうかがいたい素敵なコンサートでした。ありがとうございました。

マッチングファンド助成金を
使用して作成した印刷物では
ありませんが、事業の参考として
添付しています。

障がいのある子も
ない子もその家族も
みんな
楽しんで
める
コンサート

Shining
Hearts'
Party 20

2023年

1/15日

14:00~17:00

(開場 13:30・入退室自由)

会場 **さいたま市文化センター大ホール**
/ YouTubeLive 配信

同日開催

『親子が元気になるペアレント・トレーニング
～子どもの成長を願って～』

講師 **中田 洋二郎先生**

時間 **10:00 ~ 12:00** 定員 **80組**

視聴方法 **オンライン開催 (Zoom)**

※お申し込みについては裏面をご覧ください。

主催：特定非営利活動法人 子育て応援隊むぎぐみ

協働：さいたま市市民協働推進課・障害政策課・
子育て支援政策課

協賛：花まる学習会/スクールFC/アノネ音楽教室

後援：埼玉県教育委員会/さいたま市教育委員会/
さいたま市/社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会/
肢体不自由児を育てる親の会『すてっばいすてっば』

音楽は続くよどこまでも
～20年の感謝を
メロディにのせて～

入場
無料

今年度もさいたま市と協働開催
令和4年度さいたまマッチングファンド
助成金一般助成事業

お問い合わせ

特定非営利活動法人 子育て応援隊むぎぐみ
✉ shp.since2003@mugigumi.com

むぎぐみ HP▶
<https://www.mugigumi.com/>



障がいのある子も ない子も その家族も みんなで楽しめるコンサート
Shining Hearts' Party 20

音楽は続くよどこまでも ～ 20年の感謝をメロディにのせて～

このコンサートは2003年に始まり、毎年一回ずつ開催して、いよいよ20回目を迎えることになりました。

「障がいのある子も、またその家族も、みんなで聴いてもらえるコンサートにしたい」、その想いに賛同して下さった方たちがいて続けてこられました。音楽を愛する出演者の方々、ボランティアスタッフの方々の応援、そしてコンサートを毎年聴きに来てくれるみなさんのおかげです。

このコンサートは、途中で声を出してもとがめられない、安心して聴けるコンサートです。子ども向けの曲は一緒にリズムに乗って歌ってください。大人向けの名曲も弾いてもらいます。いつもがんばっているお母さま、お父さま、ご家族の皆さまのためです。夫婦でいらっしゃる方はデート気分楽しんでください。

家族、友人を誘ってぜひお越しください。みんなでコンサートを楽しみましょう。

発起人 高濱正伸



出演者 (50音順)



KARINBA



越谷市音楽団



ご存知さいたま寿座



白井崇陽



花まるバンド

ロビー展示

あみくろおべんとう屋さん (NPO法人くれおん)、ARTのとびらとKARINBAブース、特定非営利活動法人子育て応援隊むぎぐみブース、アノネ音楽教室ブース、NOT≠EQUAL

講演会 『親と子が元気になるペアレント・トレーニング ～子どもの成長を願って～』



立正大学名誉教授・日本ペアレント・トレーニング研究会会長 臨床心理士。国立精神・神経センター精神保健研究所(精研)室長、福島大学大学院教授、立正大学教授を経て現職。発達相談や家族支援に関する心理臨床実践経験と多数の研究業績を持つ。精研チームでADHDなど発達障害のPTプログラムを開発し、日本のPTの普及に尽力。著書『発達障害と家族支援』(学研)など多数。

講演会申込方法

むぎぐみHP申込フォーム

<https://www.mugigumi.com/concert/>



参加をご希望の方は、上記フォームよりお申し込みください。

申込期限：2023年1月9日(祝・月) 19:00まで

※お申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

【お問い合わせ】特定非営利活動法人 子育て応援隊むぎぐみ

✉ shp.since2003@mugigumi.com

電話：048-844-1122

※コンサートは事前のお申し込みは必要ございません。



さいたま市文化センター 南浦駅より徒歩10分

さいたま市南区根岸1-7-1 TEL: 048-866-3171

有料駐車台数は限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

*当日の撮影、及び録音はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。*このコンサートは営利を目的とせず宗教、政治活動と一切関係ありません。

事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

<収入>

単位：円

区分		算出根拠	金額
収入合計 (A)		(a) + (b)	638,626
自己資金額 (a)		①～⑥の合計 (d) と同額	150,626
団体の自己資金	① 自己資金		150,626
	②		
	③		
費用の徴収	④		
	⑤		
	⑥		
助成金交付申請額 (b) (助成金収入・100万円以内)		(c) と同額	488,000

<支出>

区分		算出根拠	金額
支出合計 (総事業費) (B)		(c) + (d)	638,626
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 使用料	施設及び付帯設備利用料 (127,830の内助成金充当分)	90,000
	② 委託料	YouTubeLive配信に係る委託費 (251,900円の内助成金充当分)	217,600
		舞台装置操作に係る人件費	125,400
	③ 役務費 (通信運搬費等)	仮設ネット回線設置費用 (61,221円の内助成金充当分)	55,000
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
⑧			
助成金充当経費計 (c)		①～⑧の合計 (b) と同額	488,000
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費	⑪ 使用料	施設及び付帯設備利用料 (127,830円の内助成金を上回る 37,830円)、 オンライン配信のための施設利用料 72,275円	110,105
	⑫ 委託料	YouTubeLive配信に係る委託費 (251,900円の内助成金を上回る費 用) 34,300円	34,300
	⑬ 役務費 (通信運搬費等)	仮設ネット回線設置費用 (61,221円の内助成金充当分)	6,221
	⑭		
助成対象外経費	事業に附随して 必要な経費 [(c)の10%以内]	⑮	
		⑯	
		⑰	
	その他の経費	⑱	
		⑲	
		⑳	
自己資金充当経費計 (d)		⑪～⑳の合計 (a) と同額	150,626

743,000

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。